

9月10日は「下水道の日」

未来に引き継ごう 美しい水環境

下水道課 ☎35-3150
各支所基盤産業課
問合せ

地球上の水は、数十億年前からほとんど量が変わっていません。それは水が循環を繰り返してきたからです。海の水は蒸発して雲となり、雨や雪を降らせ、川や湖を流れて海へ帰ります。その中で私たちは、日常生活はもちろん、産業においても水を利用し、多くの恩恵を受けています。

使用して汚れた水を再びきれいにして川や海へ返すことは、美しい自然を守り、快適な生活を維持することにつながります。そのための大切な役割を果たしているのが「下水道」です。9月10日の「下水道の日」にあたり、美しい水環境を未来に引き継ぐ下水道について考えてみませんか。

快適な暮らしと 美しい環境のために

水は、私たち人間だけでなく、地球上のあらゆる生命にとってなくてはならないものです。しかし、私たちの暮らしや産業活動で出される排水は、そのままでは川や海を汚してしまいます。そのため、下水道できれいな水にしてから自然にもどして

家庭や事業所の排水は どう処理するの

宮川終末処理場を例にとると、家庭や事業所で使われた汚水は、排水設備（排水管や排水ますなど）を流して下水道管へと流れ、処理場へと運ばれます。処理場に運ばれた水は、まず最初に沈砂池で大きなごみなどを取り除き、最初沈殿池へ送られます。

最初沈殿池では、沈砂池で取れなかったごみをゆっくりと時間をかけて落とし、その後、微生物が入った反応タンクに送られ、微生物が汚れを食べることで、水をきれいにしています。

さらに最終沈殿池では、汚れを食べて重くなった微生物

が集まって汚泥として沈み、汚れが取り除かれてきれいになった上澄みは消毒設備へと流れ、消毒後に河川へと放流されます。

下水道の普及で 河川の水質も向上

下水道は、川や海などの豊かな自然環境を守るとともに、害虫や悪臭の発生を防ぐなど、快適で衛生的な生活を守る重要な役割を担っています。

次ページのグラフは、下水道の普及と宮川の水質の関係を表したものです。下水道の普及が進むにつれ、水質もきれいになっていることがわかります。汚れた水をきれいにして自然へ帰す、それが下水道の役目なのです。



市内で一番大きな処理場である宮川終末処理場
(冬頭町)

2017.9.1